



the japan times

The New York Times

International Edition

MEDIA INFORMATION ジャパンタイムズ媒体資料 NO.5

Issue Date: June 2017

The Japan Times is now distributed with the international edition of one of the world's most respected newspapers, The New York Times.

創刊120年の歴史を誇るジャパンタイムズ



1897年ジャパンタイムズ創刊号



福沢 諭吉



山田 季治

ジャパンタイムズの歴史は、日本の国際関係に密接に結びついた多彩な変遷と発展の歴史といえます。

明治時代、時の政府は幕末開国当時に結ばれた不平等な国際条約の改正が最大の外交目標でありました。当時はまだ、函館、新潟、東京、横浜、大阪、神戸、長崎の7つの都市に「外国人居留地」という治外法権の地域が設置され、居留地の外国人との間での問題が頻発しており、国民は大きな不満を抱えていました。

そこで「外国人との間に生じる誤解を解消し、真の日本の実情を知らせ、相互理解を促進する」ことを目的に、1897年3月22日、ジャパンタイムズは創刊されました。

福沢諭吉の遠縁である山田季治が社長となり、伊藤博文の渉外秘書であった頭本元貞が主筆に就任しました。

資金面では福沢諭吉が日銀をはじめ広く財界に声を掛け、所謂「オールジャパン」の支援を受けることができ、日本人の手による初の英字新聞が発行されたのです。

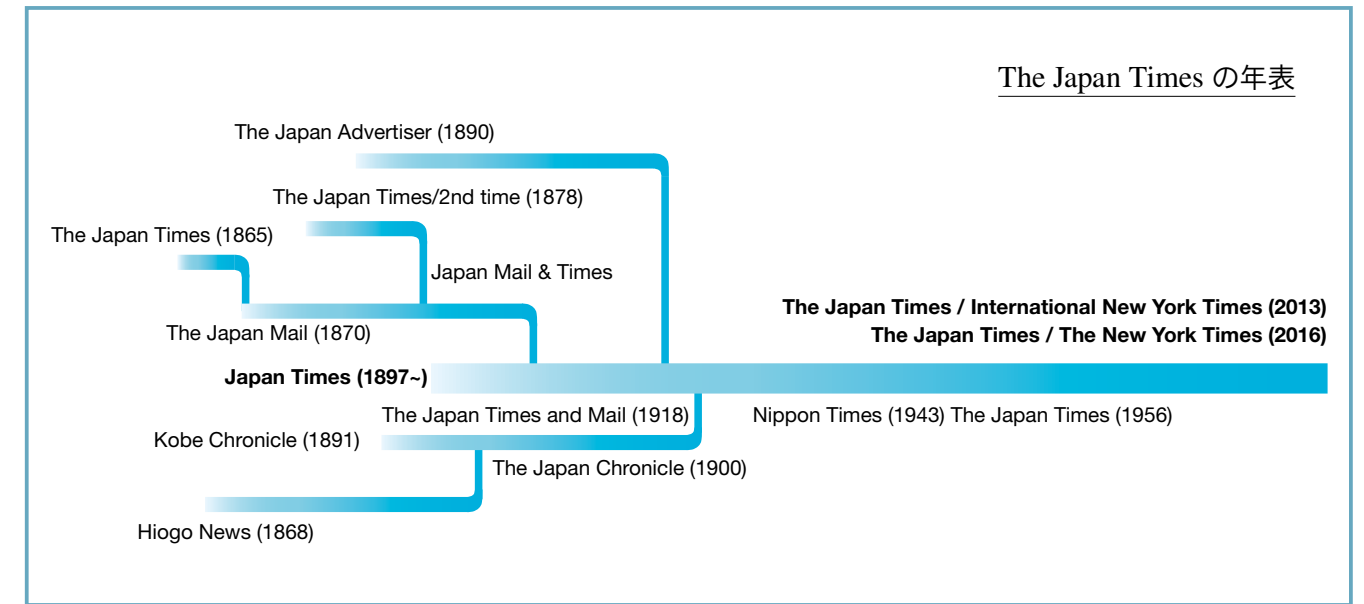
幕末には、既に横浜の英国人が創刊した同名の英字新聞がありましたが、同紙はジャパンメールに合併され、そのジャパンメールを当社が買収。その後、さらに英国系のジャパン・クロニクルと、米国系ジャパン・アドバイザーを吸収し、戦前における日本の英字新聞の統合を実現しました。

ジャパンタイムズは、それぞれの歴史の節目において、我が国唯一の独立英字紙として、日本の現状と世界の動向を国内外へ報道することを使命とし、その役割を果たしてまいりました。

近年、訪日外国人数も急速に増加し、海外との往来がますます盛んになる中、確かな日本情報への需要は増すばかりです。2013年からは、国際世論をリードするThe New York Times紙との紙面提携を開始し、国内で最も魅力ある英文ジャーナリズムを読者に提供しております。

ジャパンタイムズはこれからも「世界に開く日本の窓」としての役割を果たしてまいります。

ジャパンタイムズ代表取締役社長 堤 丈晴



The Japan Timesについて

The Japan Times は国内で最大の販売部数を誇る英字新聞であり、多様性と独自性のある日本関連の英文ニュースを提供しています。1897年創業以来、政治、経済、文化、社会及びスポーツ報道を通じ、日本を世界に発信する役割を果たしてきました。本紙は、現在に至るまで、様々な提携・合併・政府の政策により、度々名称の変遷を経てまいりました。1897年 Japan Timesとして創刊した後、1918年の合併により The Japan Times and Mailに名称変更しました。1956年からは現在の名称である The Japan Timesとして親しまれています。

The New York Times / International Editionについて

The New York Times / International Edition (以下、NYTI) は世界の読者に向けて独自に編成・編集された New York Times の国際版として発行されています。NYTIは世界中のオピニオンリーダー及び各業界のキーパーソンに向けたコンテンツを揃える最高級紙です。本紙の特派員のみならず New York Times の特派員と連携することにより広範囲のリソースを確保し、130の国や地域において販売されています。

The New York Times Companyについて

The New York Times Company は、ニューヨークタイムズ、インターナショナルヘラルドトリビューン、NYTimes.com、Boston.com やその他の関連企業を傘下におさめる世界をリードするグローバルなマルチメディアニュース・情報企業です。クオリティの高いニュースや情報収集、発信を通じ社会の向上を目指しています。

ジャパントイムズの3大特色

120年もの長い歴史の中で「ジャパントイムズ」が一貫し追求し、そして堅持してきた目標は3つ。それこそがジャパントイムズを支え、またジャパントイムズと他の英文媒体とを隔ててきた最大の特色といっても過言ではありません。いかに時代と環境が変わろうとも、この3つの特色があるかぎりジャパントイムズは、持続的な発展を求める企業にとって最適な広告媒体であり続けると自負しています。

- 1 日本で発行される英字紙の中で最大の発行部数**
ジャパントイムズの現在の発行部数は、日本国内で発行される英字紙の中で最大。また、在日外国人に対するカバー率において他紙を圧倒しています。
- 2 独自の報道・編集方針から生まれる質の高い記事**
専任の英文記者が翻訳によらずに独自に取材し記事を書き起こすジャパントイムズ流の報道・編集方針。そこから生まれる質の高い記事こそがジャパントイムズの誇りです。
- 3 3つの世紀を生き抜いてきた自主独立の歴史**
ジャパントイムズの歴史は実に120年。この事実1つの中にも、ジャパントイムズがいかに多くの支持と信頼を得てきたかがお分かりいただけるはずです。

ジャパントイムズの代表紙面

National News

日本国内でいま起きていること、政治、外交、事件・事故、社会現象や最新トレンドも取り上げています。読者にニュースの文脈を分かりやすく伝える「FYI」(For your information) シリーズを連載中。



Sports

日本人選手の海外での活躍をはじめ、スポーツニュースが満載。スタッフ記者やベテラン執筆陣によるコラムは試合の裏側まで伝えます。



Front Page

最新の国内・国際ニュースと解説および多様なテーマのフィーチャー記事を、他の日本の新聞とは違う独自の視点で選んでお届けします。



World News

日本の報道では読めない海外のニュース・解説、フィーチャー記事が充実。



Business

国内外の主な経済、産業、金融ニュース・解説を多様な情報源から伝えます。



日本の国際派求人を支えてきた案内広告ページ

語学力や国際性に富む有能な人材を求める企業と、そのような職種を希望する優秀な読者の双方から高く評価されている、求人ページです。

求人広告の特徴

主な業種：国際機関・大公使館・官公庁・航空会社・ホテル・旅行会社・商社・インターナショナルスクール・英会話スクール(その他語学学校)・大学・人材派遣会社・人材紹介会社

主な職種：通訳・翻訳・秘書・教師・営業・企画・管理職・販売・記者・編集者・キャビンアテンダント

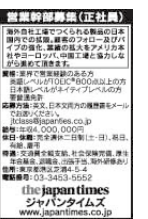
求人広告の種類

テキスト広告
お得な料金で求人広告が掲載でき、Web 転載も追加可能です。

EDITOR-REPORTER. A native English speaker competent in Japanese. Computer skills (MS Word, Excel) a must. Please call (03) 3453-5552 for more details. The Japan Times.



案内広告“ページ中”
小さな枠付き広告ですが、Classified Pageのほぼ中央に配置され、目を引きます。日曜転載が無料。



案内広告“ページ下”
大きな枠付き広告なので、企業アピールができ、求人条件も詳細に掲載することができます。日曜転載、Web 転載無料。



ジャパントイムズ ウェブサイトへの転載

紙面に掲載した求人広告を Japan Times Online Classified に転載できます。(一部有料)



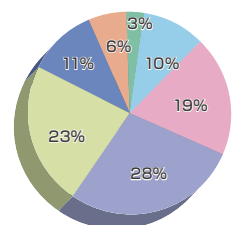
関連求人サイト紹介

Japan Times Jobs は The Japan Times の豊富なコンテンツと英語スキル獲得のノウハウを軸に、「英語の能力を活かしたい求職者」と「英語スキルの高い人材を求める企業」を結びつけるサイトです。



読者年齢 (日本人) * 50歳以下6割

- 20歳以下
- 21歳以上 30歳以下
- 31歳以上 40歳以下
- 41歳以上 50歳以下
- 51歳以上 60歳以下
- 61歳以上 70歳以下
- 71歳以上



発行部数約4.4万部、そして12万人を超える読者総数

国内最大部数、社会的・知的ステータスが際立つ読者層

英字紙で国内最大の部数
(2016年10月実績) **43,965部**

読者総数(平均回読数 2.8人) **123,102人**

3大都市圏の
英語圏外国人へのリーチ率 **58%**

大学・大学院卒 **88%**

役員・管理職クラス **34%**

年収1000万以上 **39%**

①ジャパンタイムズ読者の特色は、学歴・地位・世帯年収などに見られる質の高さにあります。

②日本国内で発行される英字紙の中で最大の発行部数を誇ります。

③3大都市圏(東京・名古屋・大阪)在住の英語圏外国人のうち、約6割の人に届いています。到達率が高く、2人に1人に到達しています。

*東京・名古屋・大阪在住の英語圏外国人104,152人(2013年法務省調べ)

日本人・外国人の比率

外国人が読者の約7割を占めています。しかし即売比率の高まる月曜日は日本人が増加します。

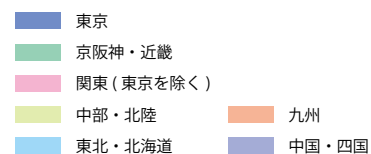


外国人読者の出身地域

世界各地の出身者に読まれています。そのうちの8割以上が欧米系出身者です。

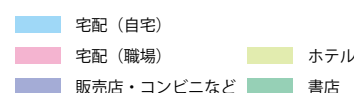


日本国内における配布地域：
関東(東京含む)及び京阪神近畿87%
東京・大阪の2大都市圏を中心とした、国際的なビジネスエリアに読者が集中しています。



配布・入手方法(宅配率(自宅)62%)

約7割の読者が、確実に手にすることのできる宅配によって入手しています。



学歴(大学・大学院率88%)

4年制大学・大学院卒業者が約9割を占めるなど、高学歴であることが特色です。



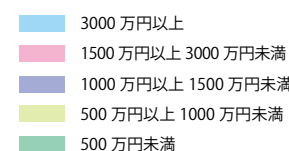
職業地位(役員・管理職34%)

役員・管理職クラスが3割以上を占めるなど、役職の高い読者層です。



世帯年収(1,000万円以上39%)

平均的な給与所得者の年収(412万円*)を超える読者が7割近く、年収1000万円以上が約4割を占めています。



購読期間

購読期間5年以上が全体の半数近く、同じく20年以上が4分の1近くを占めています。



*2010年度国税庁のデータによる給与所得者の平均年収。また、この調査は社会人読者を対象とした。

男女比率

約6割が男性、約4割が女性となっています。



年齢

幅広い年齢層に支持されていますが、中でも31歳から60歳までが中心読者です。



【調査概要】

調査名：ジャパンタイムズ読者調査2014

調査期間：2014年2月25日～4月15日

調査方法：The Japan Times / International New York Timesにて回答用の特設webページのURLを載せた調査広告を掲載、読者がアクセスして回答

有効回収数：278

調査主体：株式会社ジャパンタイムズ

在日外国人数

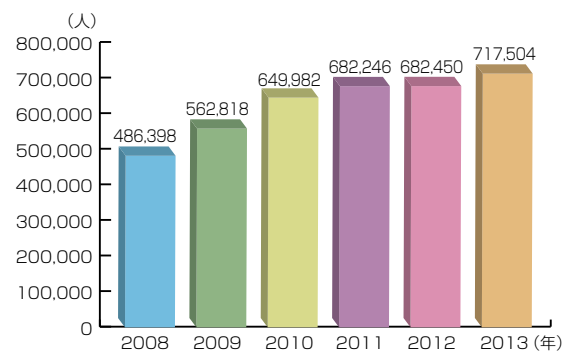
法務省入国管理局の残留外国人統計によりますと、平成25年末現在における中長期在留者数は、169万3,224人、特別永住者数は37万3,221人で、これらを合わせた在留外国人数は206万6,445人となり、前年末に比べ、3万2,789人(1.6%)増加した。
在留外国人数の我が国総人口1億2714万人(総務省統計局発表の平成26年4月1日現在概算値)に占める割合は、前年末の外国人登録者数(短期滞在等を除く)と同水準の1.63%となります。

平成24年度における外国人登録者数(法務省資料)

登録地域	総数
東北・北海道	66,978
関東(東京を除く)	521,720
東京	407,067
中部・北陸	412,458
京阪神・近畿	431,549
中国・四国	114,214
九州・沖縄	109,277
合計	2,066,445

外国人雇用の届出状況(厚生労働省資料)

外国人労働者数

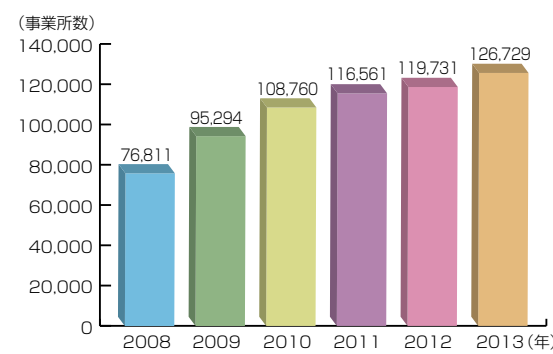


外資系企業(3,194社)(経済産業省資料)

経済産業省の第46回外資系企業動向調査(2012年調査)によると、外資系企業の30.5%が今後1年間で雇用を「増員する」と回答しています。また、売上高、経常利益も増加傾向にあり、「事業の拡大を図る」と回答した企業も51.4%に上ることから、日本で積極的に事業展開する外資系企業が増えていくと予想されます。

外国人雇用事業所数(厚生労働省資料)

2013年、外国人労働者を雇用している事業所数は12万6,729事業所であり、前年に対して6,998の事業所が増加となりました。

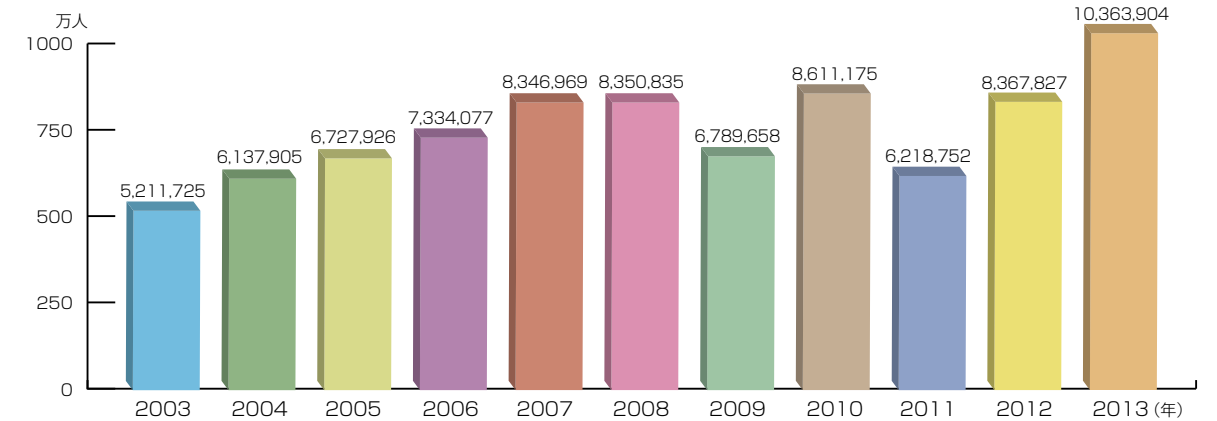


海外進出企業(経済産業省資料)

日本側出資比率が10%以上の海外現地法人は、現在約23,858社(2012年)にも上り、海外市場の重要性も高まっています。そのため、現地事情に沿った事業活動を求められることが多くなっていますが、それを担う「グローバル人材」が不足している現状もあり、「グローバル人材」の確保・育成に向けた取り組みも広がっています。

訪日客数の推移

(日本政府観光局資料)



訪日観光客 2013年 過去最高の1,036万4千人(前年比24%増)

2013年の訪日外客数は1,036万4千人で、前年比24%増であった。日本政府観光局が1964年に統計を開始して以来、初めて1,000万人を突破し、これまで過去最高であった2010年の861万1千人を上回った。

教育現場で活用されるジャパントイムズ

あらゆる分野の実用英語が掲載されているジャパントイムズは、企業の英語研修や大学の授業などの教育現場で多く活用されています。TOEIC®の試験対策をはじめ、英語学習に最適なメディアといえます。また、大学の入試問題にもジャパントイムズの記事が多数採用されています。

■2012年度 入試問題 採用校
(採用校数: 115校 採用出題数: 156)

愛知教育大学 愛知大学 会津大学 跡見学園女子大学 跡見学園女子大学大学院 茨城キリスト教大学大学院 岩手県立大学 宇都宮大学 愛媛大学 追手門学院大学 大阪教育大学 大阪経済大学 大阪工業大学 大阪産業大学 大妻女子大学大学院 鹿児島大学 活水女子大学 神奈川大学 金沢大学 鎌倉女子大学 川村学園女子大学 関東学院大学 京都光華女子大学・短期大学部 京都橘大学 京都ノートルダム女子大学 京都文教大学 金城学院大学 国立音楽大学 熊本大学 久留米大学 群馬大学 慶應義塾大学 高知工科大学 高知大学大学院 甲南大学 神戸市看護大学 神戸女子大学・短期大学 神戸松蔭女子学院大学 神戸薬科大学 駒澤大学 札幌大学 渋川看護専門学校 島根県立大学 淑徳大学 上智大学 昭和女子大学 信州大学 仁愛大学 ほか ※五十音順

■2013年度 入試問題 採用校
(採用校数: 118校 採用出題数: 181)

愛知大学 跡見学園女子大学 岩手県立大学 大妻女子大学 鹿児島大学大学院 慶應義塾大学大学院 聖心女子大学 東海大学大学院 日本大学 愛知大学 ノートルダム清心女子大学 フェリス女学院大学 福山市立大学 一橋大学 安田女子大学・短期大学 園田学園女子大学・短期大学部 横浜国立大学 横浜商科大学 横浜薬科大学 学習院大学 活水女子大学 環太平洋大学 鎌倉女子大学・短期大学部 関東学院大学 岐阜聖徳学園大学・短期大学部 岐阜大学 久留

米大学 宮城学院女子大学 京都学園大学 京都橘大学 京都光華女子大学・短期大学部 玉川大学 金城学院大学 金沢大学 九州栄養福祉大学 九州共立大学 駒沢大学 群馬大学 甲南女子大学 航空保安大学校 高千穂大学 高知県立大学 山形県立米沢女子短期大学 国立障害者リハビリテーションセンター学院 山口県立大学 山梨大学 順天堂大学 昭和大学 松山大学 上智大学 城西国際大学 新潟経営大学 新潟医療福祉大学 新潟県立大学 新潟国際情報大学 新潟大学 成蹊大学 森ノ宮医療大学 神戸国際大学 神戸市看護大学 神戸女子大学・短期大学 神戸松蔭女子学院大学 西武文理大学 青山学院大学 川崎医療短期大学 倉敷芸術科学大学 大阪学院大学 大阪教育大学 大阪経済法科大学 大阪工業大学 大阪産業大学 大阪大学 大正大学 大谷大学 中央大学 追手門学院大学 帝京大学 東海学園大学 東京工芸大学 東京都市大学 東京未来大学 東京理科大学 東筑紫短期大学 東北工業大学 東洋大学 東洋英和女学院大学 藤田保健衛生大学 同志社大学 南山大学 二松学舎大学 日本女子体育大学 日本体育大学 日本大学 梅光学院大学 富山大学 福井工業大学 福岡工業大学 福岡大学 文教大学 法政大学 防衛大学校 北九州市立大学 名古屋大学 明治大学 立教女学院短期大学 立教大学 麗澤大学 和洋女子大学 ※五十音順

効果的なディスプレイ広告と広告特集

在日外国人マーケットや国際派日本人のための貴重で有益な情報源として絶大な信頼を得ているジャパントイムズ。その独自性を生かした多様なディスプレイ広告と数々の広告特集・広告企画は、強力なマーケティングおよびPR手段としてさまざまな企業・団体から高い評価を得ています。

国際会議

国内・海外で行われる国際会議にあわせて特集を発行しています。ジャパントイムズ読者のみならず国際会議の会場でも配布することで、ダイレクトに政府・海外メディア関係者に訴求できます。



フォーラム

ジャパントイムズ主催の座談会・セミナーを実施しています。来場プロモーションとしての事前告知記事や、イベント終了後のレポートを紙面に掲載します。



ナショナルデー・VIP来日歓迎特集

ナショナルデー特集は、130カ国以上の駐日大使館からの協力のもとに、建国記念日などを祝賀し、各国を紹介。各国の首脳や元首が日本を訪問する際には来日歓迎特集を掲載しています。



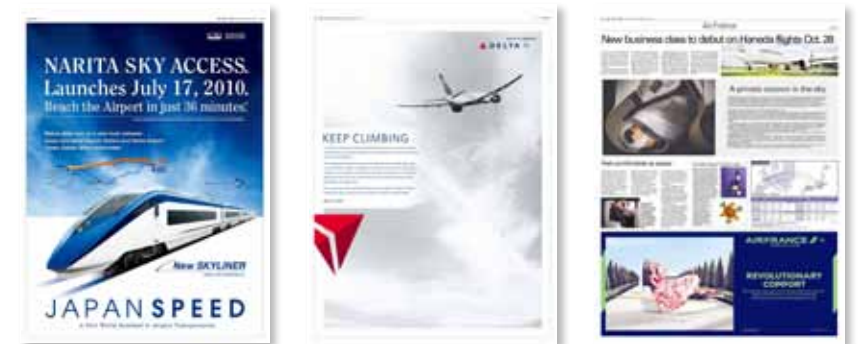
国際展示会・コンベンション特集

日本で開催される国際展示会・コンベンションは年々増加しています。主催国における英文の情報源として海外の参加者からも注目されています。



エアライン

出張や帰省で頻りにエアラインを利用するジャパントイムズ読者。中でも外国人駐在員や大使館員などの高所得者をターゲットに、ビジネスクラスのリニューアル、新路線就航、キャンペーンの告知などに効果的です。



ホテル

レセプション出席や出張での宿泊で高級ホテルを頻りに利用する読者が多く、ホテル開業時のオープニング告知やプランディングに最適な媒体です。



飲料

日本食ブームで日本酒や焼酎の海外への輸出量が伸びており、外国人への認知度向上や海外への輸出促進といった効果が期待できます。在日外国人を集めた試飲会や料理教室など、イベントを実施して展開することも可能です。



国内外の観光特集

国際派日本人に向けての海外政府観光局PRや、増加する訪日外国人観光客向けに国内イベント告知を掲載しています。



地方自治体

国際会議・コンベンションの誘致、最先端技術の紹介、観光のPRなど、地方自治体の取り組みを海外に向けて強力にアピールします。



レストラン&ダイニング

外国人に人気のレストランを紹介する特集を年複数回掲載しています。ハンバーガーショップ、ダイニングバー、ビアレストランなどテーマ別に掲載。外国人を集客することで知名度が上げられます。



教育関連

キャリア志向で学習意欲の高い読者をターゲットに、インターナショナルスクール、MBA、大学・大学院、通訳翻訳学校、日本語学校などの特集を掲載しています。



自動車

環境に配慮した次世代自動車に関心が高まっています。東京モーターショー開催年には特集を掲載、国内外の参加者から注目されています。



不動産

高級分譲マンションやサービスアパートメントなど、外国人が居住する不動産の紹介に利用されています。免震・制震構造をわかりやすく解説した紙面など外国人にとって貴重な情報源となっています。



エンターテインメント

エンターテインメント情報が充実しており、映画やライブに関する詳細なレビュー、アートイベントの紹介などが人気。英語のテレビ欄も重宝すると評価されています。読者の関心が高く、エンターテインメント系広告には最適です。



家電量販店・免税店

在日外国人や訪日観光客が日本で楽しみにしていることのひとつに、電化製品の購入や各種ショッピングが挙げられます。ショッピング情報は読者の高い関心を引き、迅速なレスポンスへとつながっていきます。



スポーツ

日本全国で行われる国際スポーツ大会は年々増えていて、スポーツ観光誘致は国の重要な施策の一つに位置づけられています。それに伴いさまざまな国際的スポーツイベントの特集を組み、海外プロモーションにも活用されています。



ジャパンタイムズ・オンライン運動特集

ジャパンタイムズ本紙に掲載された広告特集をオンラインにも転載しています。新聞とオンラインを連動する事で、国内外の外国人及び国際派日本人への訴求力が飛躍的に高まります。



フリーペーパー

Spotlight

在日外国人の増加と政府の外国人観光客誘致キャンペーンを機に支援媒体として、2003年10月に創刊。

日本の観光地・日本文化・生活情報などの本紙記事を抜粋し、フリーペーパーとして毎週再印刷しています。

在日及び訪日外国人への情報伝達の強化とジャパンタイムズの魅力を伝え、新聞購読を促す目的で都内および横浜の観光案内所・ホテル・飲食店・量販店・交通機関120カ所に設置、毎週約12,000部を発行しているサブプリントメディアです。



ウェブサイト

The Japan Times website

The Japan Times websiteは、国内ニュースを世界に向けて発信するメディアとして、圧倒的な地位を築いています。Newsを主軸にOpinion、Life、Community、Culture、Sportsなど幅広いコンテンツを配信。英語力を兼ね備えた日本人ビジネスマンや国内外の外国人ユーザーなど、英文サイトならではのユーザー層が特徴。ビジネス層が中心、高所得者も多く訪れています。



< DATA / データ >
 Page Views: 8,300,000 pv/month Unique User: 1,400,000 people/month
 Twitter: 111,000 followers Facebook: 106,000 fans (2014年4月実績)

タブロイド紙

The Japan Times ST

TOEIC®対策、各界の英語のプロが書く多彩なコラム、最新映画のセリフから学ぶ日常英語、クロスワードパズル、英語雑学など、幅広い角度から英語学習をサポート。学生や社会人、主婦やご年配の方など幅広い方々に読まれています。



日曜日版

The Japan Times On Sunday

The Japan Times On Sunday は国際的な視点に立って、国内の日刊紙では読めない幅広い話題を提供します。

28ページ建て(8ページがカラー)の紙面には、コンパクトでありながら掘り下げた分析記事や最新のニュースが満載です。政治、経済、スポーツはもちろん、文化、娯楽に関する読み物など、多彩な情報を発信していきます。国際感覚に磨きをかける知的情報源として役立ちます。



ムック

The Japan Times for WOMEN

世界を舞台に輝きたい新世代大和撫子のための知的向上キャリアマガジン。豊富な海外経験や優れた語学力、さらに強いキャリア志向を兼ね備えた女性を対象に、世界で通用する「女子力」「仕事力」を身に付けるための情報を発信します。今までの女性向け雑誌では得られなかったコンテンツが満載です。



通訳・翻訳キャリアガイド

ジャパンタイムズが強みとするジャーナリスティックな視点で、通訳や翻訳という仕事を持つ魅力ややりがい、プロに要求されるスキルおよび意識の持ち方などを取り上げています。また、通訳者・翻訳者になるための道筋から、実際の仕事の現場に至るまで、今日の通訳・翻訳業界の実像を包括的に紹介しています。



イベント

ジャパンタイムズ・ニフコビル内のホールを利用して、各種イベントの開催が可能です。自社媒体やSNSアカウントを利用した告知により、効果的な集客が期待できます。外資系企業を中心とした転職・就職イベントや留学フォーラムを不定期で行っているほか、若い女性をターゲットに、著名人をゲストに迎えて楽しく英語を学ぶパーティーでは、参加人数を大幅に超える申し込みをいただき好評を得ました。



